



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ



会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>

6

2008, JUNE

第1766回例会

平成20年6月5日



2008年6月

ロータリー親睦活動月間



会 長	茨木 雅敏	広報委員長	奥 敏則
副 会 長	近藤 誠勝	広報副委員長	小甲 哲士
副 会 長	千葉 清孝	委 員	渡部 省一
幹 事	三野宮 功	委 員	久保 且佳
会 計	大沢 剛	委 員	田中 利昭
S A A	本田美喜男	委 員	北川 勝啓

会長報告

会長 茨木 雅敏



こんにちは。まず最初に、先日義母様を亡くされました土肥会員より青少年育英資金のほうへ寄付を頂いておりますことをご報告いたします。今月は、ロータリー親睦活動月間になっております。当クラブでは、5月から各同好会の活動が盛んになりますが、今月は、今週末開催されます、喜寿・古希・還暦のお祝いと年度末の親睦スポーツ大会があります。毎年多くの会員が参加され、盛大に行われておりが、今年度も多くの皆様の参加をお願いいたします。本日は、例会での親睦のひとつで、例会時最初に必ず歌われます、ロータリー・ソングについてお話しをいたします。日本での最初のロータリークラブは、1920年創立の東京ロータリークラブですが、初めの頃の例会では、ロータリー・ソングは、英語のまま歌われておりました。やがて、日本語によるロータリー・ソングを求める声が高まり、1935年の京都での地区大会において、公募で「奉仕の理想」と「我等の生業」等4曲が、入選作として発表されました。他の2曲は現在では歌い継がれていませんが、曲名は「旅は道づれ」と「平和を人の世に」だそうです。戦時中は、「君が代」の斉唱だけでしたが、1949年に日本が国際ロータリーに復帰した後、1951年に新しいロータリー・ソングが公募されました。これは1952年7月に、日本のロータリーが2つの地区に分かれるのに伴い作られたのが、「手に手つないで」です。「それでこそロータリーは」1953年に作られたそうです。例会で歌を歌うことが習慣になっているのは、アメリカ・オーストラリア・カナダ・日本などで、ヨーロッパとかアジアの国々で歌われないようです。また、日本ではクラブ独自の歌を作って歌っているクラブが、結構あるそうです。当クラブの「たいまつ宣言」の唱和と同じ扱いと思われれます。以上、会長報告といたします。

たいまつ宣言

この「たいまつ宣言」は創立30周年にあたり、西ロータリークラブの創立の心を知るところから発し、我々が未来へ向けての道標とするものである。たいまつのように我々の行く道を照らし、明るい未来へと導くものである。

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

出席状況報告

月/日	5/8	5/15	5/22	5/29
例 会	1762回	1763回	1764回	1765回
総会員数	72名	72名	72名	72名
計算に用いる 出席者数	65名	65名	65名	65名
ホームクラブ出席	49名	43名	44名	48名
メークアップ参加	14名	19名	16名	14名
欠 席 者	2名	3名	5名	3名
出 席 率	96.92%	95.38%	92.30%	95.38%

ニコニコ献金

6月 5日 7,000円 累計 498,000円

今月の主な行事

- 6月 5日 誕生・結婚祝
- 12日 理事・委員長退任挨拶
- 19日 会長・副会長・幹事退任挨拶
- 26日 スポーツ大会・年度最終夜間例会



点鐘
開会宣言
国歌斉唱
ロータリーソング(四つのテスト)
たいまつ宣言唱和
6月結婚祝
秋川恵二会員 1962. 6.23
平田利器会員 1973. 6.10
中島久司会員 1975. 6.13
大友広明会員 1979. 6. 1
6月誕生祝
鈴木 享会員 1942. 6.22
横山明美会員 1948. 6.21
バースデーソング

茨木雅敏会長
柳沢一元副SAA
柳沢一元副SAA

親睦活動委員会 太田 豊委員
茨木雅敏会長 1979. 6.10
横田幸宏会員 1987. 6. 6
三野宮 功会員 1987. 6.28
田中利昭会員 2004. 6.13
親睦活動委員会 太田 豊委員
安原明彦会員 1959. 6. 3
奥 敏則会員 1959. 6.23



岡田武稔会員



茨木雅敏会長
三野宮 功幹事



乾杯
(会食)
会長報告
会務報告

- ①帯広北RC、移動例会開催のご案内
日時 平成20年6月13日(金)12時(正午)
場所 北の杜
- ②帯広東RC、年度末最終夜間例会開催のご案内
日時 平成20年6月24日(火)午後6時30分
場所 帯広ワシントンホテル
- ③帯広RC、年度末最終夜間例会開催のご案内
日時 平成20年6月25日(水)午後6時
場所 ホテル日航ノースランド帯広
- ④帯広西RC、年度末最終夜間例会開催のご案内
日時 平成20年6月26日(木)午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ⑤帯広北RC、年度末最終夜間例会開催のご案内
日時 平成20年6月27日(金)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広
- ⑥帯広南RC、年度末最終夜間例会開催のご案内
日時 平成20年6月30日(月)午後6時
場所 北海道ホテル
- ⑦6月12日最終クラブ協議会の案内

委員会報告
親睦活動委員会
親睦スポーツ大会の案内
会葬の御礼
出席報告
プログラム

堂山啓太委員

土肥孝紀会員
出席委員会 太田万也委員
会員増強委員会 奥田頼昌委員長

前回の担当例会では、2人の新入会員卓話を予定していましたが、時間の都合により出来ませんでしたので、本日横山会員にお願いしたいと思います。また、会員増強委員のメンバーであります柴田会員にも、ベテランの意見を聞いてみたいということをお願いしてありますのでよろしくお願いたします。



「 会 員 卓 話 」

横山明美会員



皆さんこんにちは。前回卓話が出来ませんでしたでしたが、本日この様にチャンスを頂きました。自分は4月に入会させて頂いて以来、毎回の出席は難しいのですが、来てみるいろいろなお話を聞いて、大変に楽しく思っています。少しでも皆さん方のお役に立つようなことを話そうと考えてはきましたが、所詮農業しか知りませんので、自己PRも含めて、農業の事を中心にお話することになるかと思っております。今年で還暦になりますが、18歳から農業を始めました。当時は、農村の青年とまちの青年が交流することはありませんでした。私はあえてこれからはそうではないと思ってお話をさせてもらいました。そんな中、やはり交流は大切で、まちの方にもいろいろと農業を知ってもらうことが必要だと常々思っていました。何か良い方法はないかということで、昭和60年に自分のところでサクランボの木を植えました。十勝ではサクランボは育たないと言われていたが、35年前から桐の木が育っており、それを見た人から充分サクランボが育ち面白よというアドバイスを頂きました。当時200本ほど植えました。現在150本ほどになり、現在も毎年実をつけております。今日も防除をしてみました。この頃生り物を植えると思われている方が大勢いらっしゃると思いますが、経験からサクランボでも林檎でもそうですが、一番大事なのは枝木が冬になると雪から出ている部分は必ずといっていいほど枯れますので、痛ましいですが、50cm位のところで切ってしまうことです。つまり、からん風が大敵ですから、雪の下になるようにすることです。生り物でも食料全般にでも言えることですが、よく無農薬と言われますが、生り物では無農薬では虫に食われて食べ

られないということが実態です。また、十勝の農業生産額は、2500億円から2600億円、将来的には3000億円くらいといわれております。十勝の経済に大きく影響しています。特に今年は、農作物が値上がりし、小麦に関しては30パーセントほど上がっています。そうするとまちの人は、農家の収入も増えて良いのではと考えられると思いますが、これは製粉業者の売値が上がったのであって、我々の現状の販売価格は値上がりにつながっていません。それどころか、ちょっと言いづらいことですが、十勝の畑作農家の70パーセントぐらいは、補助金を受けて成り立っていると言って良いと思います。今、オーストラリアあたりから安い小麦が入ってきていますが、国で調整して、調整の中で我々に補助金を出しています。ですから正直言って、物の値上がりで我々農家には反映されないのです。そういうことから決して農家は儲かっていませんが、値上がりしている農家の為に物を買っていただければと思います。それから最近食糧危機ということが叫ばれておりますが、食料は世界的に見れば決して余っているわけではなく、日本でも世界各国から輸入し、食料自給率が39パーセントということです。十勝にすれば、おおよそ1100パーセントで、東京は1パーセントです。食料自給率を100パーセントにすることは不可能にしても近づけるためには、無農薬ということはありません。ジャガイモであれば、無農薬であればほとんど取れません。そうならば食料自給率は、39パーセントよりも、もっと下がることになるわけです。そんなわけで、日本の場合は規制も厳しいですし、正しい農業の使い方ということが大事になります。食糧増産のために高い農薬を使っていることを理解していただいで、安心して食べていただきたいと思っております。農家の経営というのは決して楽ではありませんが、食糧生産という責任の下、ここ2・3年のうちに変わっていくということを期待しています。最後に岩内仙峡のことをPRしますが、帯広市で唯一観光地として認められていると言っていると思いたいです。あえて作られたものではなく自然のままの場所です。自然に親しんでもらうという意味で、是非来ていただきたいと思いたいです。子供たちの教育にも自然体験の場が必要だと思いたいです。取り留めのないことを話しましたが、これからも仲良くご指導していただければと思います。

柴田和明会員



皆さんこんにちは。先般会員増強の奥田委員長から、単なる委員会メンバーだけでは駄目だということで、このお話がありました。影ながら委員会メンバーとして委員長を応援している意味で卓話をさせて頂いたと思います。今全国的にどのクラブでも会員増強の問題は起きています。ただそんな中でも30名ぐらいのクラブが1度に7名ほど会員を増やしたという情報が入ってきました。会員増強は単に人を増やすだけでは駄目だ。であれば質なのか、と言う事ではなく、クラブの内側のコミュニケーションが充分取れているかどうか、外部から見て広報活動によってちゃんとロータリーの魅力を伝えることが出来ているかどうかということだと思います。7名増加したクラブでは、徹底的に地域にPR活動を行ったそうです。ロータリーには広報というものがありませんから、内部に雑誌のPRとか情報を知らせることも大事ですが、特に外部に対しての広報活動というものが大事で、会員増強にプラスになると考えています。せっかく人が入会してきても、会長幹事が中心となってクラブがどう運営されているのか、楽しいか意義があるのかいろいろ唱えている方がいらっしゃいます。当クラブにも「一期の会」というのがありますが、生かし方によってはクラブをすばらしく引っ張って行く要因になっていくのではないかと思います。中にはそういう団体が出来ることがよくあることですが、クラブが分裂するのはどういいう意見もあるかもしれませんが、しかし実際に、ゴルフクラブやパークゴルフクラブが当クラブを支えているといっても良い。ですから良い方向に持って行くように、アイデアを出し合って、会を育てながらロータリーの勉強をして、ロータリーの趣旨を取得していくことが必要であると思いたいます。またクラブの中においても、会長幹事が中心となって、クラブの連携が取れているかどうか。と言いますのも、こう言ってしまうと失礼かもしれませんが、会長や幹事経験者がクラブの中でどういう立場に置かれているのかと言えば、ちょっとクラブの外側へ追いやられている感があります。会長や幹事経験者というのは、会のことを一番知っている人なので、こういった人方を巻き込んでいくことが活性化につながると思いたいます。ただ1日の例会で、会長と幹事だけの話を聞いて終わらないように、プログラムの編成によって、いろいろこのように経験を持った人を活用し、お話を伺い、指導していただくことが必要だと考えます。以上のことから、外から見て魅力あるクラブというのは活性化にあるということでお話をさせて頂いた頂きました。また、3年後に大きなことが待ち受けておりますが、小室さんと井上さんを中心として、クラブが分裂することなく1つの大きな組織が出来上がると思いたいます。その時は、会員の皆様一人ひとり多大なるご協力を賜りますようお願いいたします。

閉会宣言
点鐘

柳沢一元副SAA
茨木雅敏会長